

令和2年度

諫早市下水道事業会計  
決算審査意見書

諫早市監査委員



3 諫 監 第 2 5 号  
令和 3 年 9 月 8 日

諫早市長 大久保 潔重 様

諫早市監査委員	谷	口	啓
諫早市監査委員	森	口	恭子
諫早市監査委員	島	田	和憲

令和 2 年度諫早市下水道事業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定により審査に付された令和 2 年度諫早市下水道事業会計決算の審査を行ったので、その結果について次のとおり意見書を提出します。

## 目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
第2	審査の結果	1
1	事業の概要について	1
2	予算の執行状況について	2
	(1) 収益的収入及び支出	
	(2) 資本的収入及び支出	
	(3) その他の予算事項	
3	経営成績について	7
	(1) 営業収益及び営業費用	
	(2) 営業外収益及び営業外費用	
	(3) 特別利益及び特別損失	
	(4) 原価計算	
	(5) 剰余金計算	
	(6) 各下水道事業別の経営成績	
4	財政状態について	13
	(1) 資産の部	
	(2) 負債の部	
	(3) 資本の部	
5	資金収支の状況について	17
6	セグメント情報	18
7	むすび	19

### おことわり事項

- 1 本書中の各比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。
- 2 下記表現の説明は、次のとおりである。  
「0」・「0.0」 該当数値はあるが単位未満のもの  
「-」 該当数値がないもの  
「皆増」 前年度に数値がなく全額増加したもの  
「皆減」 当年度に数値がなく全額減少したもの
- 3 本書中に用いているポイントとは、パーセンテージ間の単純差引き数値である。

# 令和2年度諫早市下水道事業会計決算審査意見書

## 第1 審査の概要

- 1 審査の対象  
令和2年度諫早市下水道事業会計決算
- 2 審査の期間  
令和3年7月1日から令和3年9月1日まで
- 3 審査の方法

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び付属明細書について、地方公営企業法等関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、総勘定元帳その他の会計帳票及び関係証書類と照合するとともに、必要に応じ資料の提出を求め、また、関係職員から事情を聴取するなどにより審査した。

審査に当たっては、当事業が経済性を発揮し、公共の福祉を増進するために運営されたかを検討するため、事業の経営分析を行った。

## 第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び付属明細書は、関係法令に準拠して作成されており、当年度の経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

審査の結果の詳細は、次のとおりである。

### 1 事業の概要について

#### (1) 下水処理状況

当年度末における接続人口は 88,029 人で、前年度に比べ 1,261 人 (1.5%) 増加しており、接続戸数は 42,164 戸で、前年度に比べ 1,122 戸 (2.7%) 増加している。普及率は 76.8% で、前年度に比べ 0.9 ポイント上昇している。年間総処理水量は 13,626,349 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 902,886 m<sup>3</sup> (7.1%) 増加し、年間有収水量は 12,822,161 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 701,911 m<sup>3</sup> (5.8%) 増加している。有収率は 94.1% で、前年度に比べ 1.2 ポイント低下している。

#### (2) 建設改良事業

当年度における建設改良事業の状況は、拡張工事では、公共下水道事業で大村湾処理区 13 件、228,713,600 円、諫早湾処理区 21 件、624,797,700 円、特定環境保全公共下水道事業で飯盛処理区 4 件、56,443,300 円、高来処理区 11 件、205,688,289 円、農業集落排水事業で大草地区 13 件、292,419,600 円である。

改良工事では、公共下水道事業で 5 件、119,472,300 円、農業集落排水事業で 9 件、81,330,700 円である。

主な拡張工事は、小野第 1 号汚水幹線布設工事 (3 1 - 1 工区) 87,831,700 円、栗面地区汚水管渠工事 (3 1 - 5 工区) 75,703,100 円、栗面地区汚水管渠工事 (3 1 - 2 工区) 66,744,700 円である。主な改良工事は、令和元年度諫早

市公共下水道化屋汚水中継ポンプ場の建設工事委託に関する協定（令和元年度分）64,000,000円である。主な保存工事は、貝津2号マンホールポンプ場外水位計取替工事9,075,000円である。

なお、地元調整に不測の日数を要したこと等により、次年度へ繰越された事業は19件、繰越金額は695,354,712円である。

2 予算の執行状況について

当年度の予算の執行状況は、次のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出

(収益的収入)

(単位：円)

区 分	令和2年度					令和元年度	対前年度	
	予算額 (A)	決算額 (B)	構成比 (%)	増減額 (B) - (A)	収入率 (%) (B) / (A)	決算額 (C)	増減額 (D) (B) - (C)	比率 (%) (D) / (C)
営業収益	2,488,807,000	2,544,277,740	49.7	57,470,740	102.3	2,390,048,520	154,229,220	6.5
公共下水道事業収益	2,005,428,000	2,054,366,740	40.1	48,938,740	102.4	1,919,174,020	135,192,720	7.0
特定環境保全公共下水道事業収益	165,961,000	177,408,480	3.5	11,447,480	106.9	167,529,450	9,879,030	5.9
農業集落排水事業収益	220,258,000	225,024,390	4.4	4,766,390	102.2	218,658,720	6,365,670	2.9
漁業集落排水事業収益	26,309,000	24,302,790	0.5	△2,006,210	92.4	21,834,790	2,468,000	11.3
公共下水道事業他会計補助金	52,759,000	48,377,000	0.9	△4,382,000	91.7	47,927,000	450,000	0.9
特定環境保全公共下水道事業他会計補助金	6,153,000	5,726,000	0.1	△427,000	93.1	5,571,000	155,000	2.8
農業集落排水事業他会計補助金	8,570,000	7,827,000	0.2	△743,000	91.3	8,101,000	△274,000	△3.4
漁業集落排水事業他会計補助金	1,356,000	728,000	0.0	△628,000	53.7	680,000	48,000	7.1
公共下水道事業その他営業収益	7,000	487,100	0.0	480,100	6,958.6	532,060	△44,960	△8.5
特定環境保全公共下水道その他営業収益	2,000	1,920	0.0	△80	96.0	1,760	160	9.1
農業集落排水事業その他営業収益	2,000	25,200	0.0	23,200	1,260.0	35,040	△9,840	△28.1
漁業集落排水事業その他営業収益	2,000	3,120	0.0	1,120	156.0	3,680	△560	△15.2
営業外収益	2,607,835,000	2,581,900,808	50.3	△25,934,192	99.0	2,595,195,082	△13,294,274	△0.5
公共下水道事業受取利息及び配当金	510,000	467,572	0.0	△42,428	91.7	465,221	2,351	0.5
公共下水道事業他会計補助金	680,821,000	663,514,000	12.9	△17,307,000	97.5	697,242,000	△33,728,000	△4.8
特定環境保全公共下水道事業他会計補助金	258,387,000	248,096,000	4.8	△10,291,000	96.0	239,616,000	8,480,000	3.5
農業集落排水事業他会計補助金	402,804,000	398,912,000	7.8	△3,892,000	99.0	398,678,000	234,000	0.1
漁業集落排水事業他会計補助金	11,833,000	10,637,000	0.2	△1,196,000	89.9	13,348,000	△2,711,000	△20.3
公共下水道事業長期前受金戻入	678,516,000	677,299,770	13.2	△1,216,230	99.8	669,134,172	8,165,598	1.2
特定環境保全公共下水道事業長期前受金戻入	253,929,000	251,074,843	4.9	△2,854,157	98.9	248,737,846	2,336,997	0.9
農業集落排水事業長期前受金戻入	292,147,000	301,787,725	5.9	9,640,725	103.3	293,632,320	8,155,405	2.8
漁業集落排水事業長期前受金戻入	21,150,000	21,737,365	0.4	587,365	102.8	20,708,148	1,029,217	5.0
雑収益	7,738,000	8,374,533	0.2	636,533	108.2	13,633,375	△5,258,842	△38.6
特別利益	8,000	493,710	0.0	485,710	6,171.4	55,951,209	△55,457,499	△99.1
固定資産売却益	4,000	-	-	△4,000	-	-	-	-
過年度損益修正益	4,000	493,710	0.0	489,710	12,342.8	987,310	△493,600	△50.0
その他特別利益	-	-	-	-	-	54,963,899	△54,963,899	皆減
合 計	5,094,650,000	5,126,672,258	100.0	32,022,258	100.6	5,041,194,811	85,477,447	1.7

(税込み)

## (収益的支出)

(単位:円)

区 分	令和2年度					令和元年度	対前年度	
	予算額 (A)	決算額		不用額 (A) - (B)	執行率 (%) (D)/(A)	決算額 (C)	増減額 (D) (B) - (C)	比率 (%) (D)/(C)
		(B)	構成比 (%)					
営業費用	4,177,780,000	3,871,830,804	87.2	305,949,196	92.7	3,761,693,263	110,137,541	2.9
公共下水道事業管渠費	53,933,918	49,598,072	1.1	4,335,846	92.0	40,632,585	8,965,487	22.1
特定環境保全公共下水道事業管渠費	44,687,300	31,202,623	0.7	13,484,677	69.8	28,562,534	2,640,089	9.2
農業集落排水事業管渠費	91,859,483	69,925,914	1.6	21,933,569	76.1	65,943,130	3,982,784	6.0
漁業集落排水事業管渠費	1,559,000	861,441	0.0	697,559	55.3	844,303	17,138	2.0
公共下水道事業ポンプ場費	34,776,190	27,141,410	0.6	7,634,780	78.0	28,146,837	△ 1,005,427	△ 3.6
公共下水道事業処理場費	920,687,259	853,982,804	19.2	66,704,455	92.8	811,635,703	42,347,101	5.2
特定環境保全公共下水道事業処理場費	129,484,513	117,854,257	2.7	11,630,256	91.0	111,164,786	6,689,471	6.0
農業集落排水事業処理場費	157,931,337	139,368,986	3.2	18,562,351	88.2	143,584,946	△ 4,215,960	△ 2.9
漁業集落排水事業処理場費	12,281,000	11,615,888	0.3	665,112	94.6	9,472,216	2,143,672	22.6
公共下水道事業総係費	115,350,000	103,188,591	2.3	12,161,409	89.5	103,288,587	△ 99,996	△ 0.1
特定環境保全公共下水道事業総係費	19,385,369	15,775,692	0.4	3,609,677	81.4	16,348,138	△ 572,446	△ 3.5
農業集落排水事業総係費	28,213,631	23,162,774	0.5	5,050,857	82.1	24,284,168	△ 1,121,394	△ 4.6
漁業集落排水事業総係費	2,795,000	1,850,481	0.0	944,519	66.2	1,712,700	137,781	8.0
公共下水道事業減価償却費	1,369,912,000	1,354,883,726	30.5	15,028,274	98.9	1,341,849,567	13,034,159	1.0
特定環境保全公共下水道事業減価償却費	462,771,000	462,531,813	10.4	239,187	99.9	452,984,477	9,547,336	2.1
農業集落排水事業減価償却費	528,313,000	518,926,783	11.7	9,386,217	98.2	539,672,866	△ 20,746,083	△ 3.8
漁業集落排水事業減価償却費	41,041,000	40,716,073	0.9	324,927	99.2	38,090,931	2,625,142	6.9
公共下水道事業資産減耗費	62,528,000	5,497,138	0.1	57,030,862	8.8	69,353	5,427,785	7826.3
特定環境保全公共下水道事業資産減耗費	39,633,000	26,143	0.0	39,606,857	0.1	18,191	7,952	43.7
農業集落排水事業資産減耗費	60,632,000	43,720,195	1.0	16,911,805	72.1	3,385,997	40,334,198	1191.2
漁業集落排水事業資産減耗費	2,000	—	—	2,000	—	1,248	△ 1,248	皆減
その他営業費用	4,000	—	—	4,000	—	—	—	—
営業外費用	617,385,000	566,428,471	12.8	50,956,529	91.7	596,566,059	△ 30,137,588	△ 5.1
公共下水道事業支払利息及び企業債取扱諸費	327,147,800	301,882,803	6.8	25,264,997	92.3	333,463,677	△ 31,580,874	△ 9.5
特定環境保全公共下水道事業支払利息及び企業債取扱諸費	116,882,000	100,316,820	2.3	16,565,180	85.8	105,002,341	△ 4,685,521	△ 4.5
農業集落排水事業支払利息及び企業債取扱諸費	145,211,000	138,735,826	3.1	6,475,174	95.5	151,060,052	△ 12,324,226	△ 8.2
漁業集落排水事業支払利息及び企業債取扱諸費	8,003,000	6,010,542	0.2	1,992,458	75.1	5,971,839	38,703	0.6
消費税及び地方消費税	18,530,200	18,530,200	0.4	—	100.0	—	18,530,200	皆増
雑支出	1,611,000	952,280	0.0	658,720	59.1	1,068,150	△ 115,870	△ 10.8
特別損失	604,000	415,110	0.0	188,890	68.7	688,580	△ 273,470	△ 39.7
固定資産売却損	4,000	—	—	4,000	—	—	—	—
過年度損益修正損	600,000	415,110	0.0	184,890	69.2	688,580	△ 273,470	△ 39.7
予備費	10,000,000	—	—	10,000,000	—	—	—	—
合 計	4,805,769,000	4,438,674,385	100.0	367,094,615	92.4	4,358,947,902	79,726,483	1.8

(税込み)

収入合計は 5,126,672,258 円で、予算額 5,094,650,000 円に対し 32,022,258 円多く、収入率は 100.6%である。

主な理由は、公共下水道事業収益が予算額を上回ったことによるものである。

支出合計は 4,438,674,385 円で、予算額 4,805,769,000 円に対して 367,094,615 円の不用額を生じており、執行率は 92.4%である。

不用額の主なものは、公共下水道事業処理場費 66,704,455 円、公共下水道事業資産減耗費 57,030,862 円である。

(2) 資本的収入及び支出

(資本的収入)

(単位：円)

区 分	令和2年度						収入率 (%) (B)/(A)	令和元年度 決算額 (C)	対前年度	
	予 算 額			決 算 額		増減額 (B)-(A)			増減額 (D)	比率 (%) (D)/(C)
	当年度	繰越額	計 (A)	(B)	構成比 (%)					
企業債	1,547,100,000	252,000,000	1,799,100,000	949,300,000	42.6	△ 849,800,000	1,264,000,000	△ 314,700,000	△ 24.9	
公共下水道事業企業債	1,011,300,000	184,700,000	1,196,000,000	613,700,000	27.6	△ 582,300,000	744,300,000	△ 130,600,000	△ 17.5	
特定環境保全公共下水道事業企業債	348,000,000	56,300,000	404,300,000	174,200,000	7.8	△ 230,100,000	345,800,000	△ 171,600,000	△ 49.6	
農業集落排水事業企業債	187,800,000	10,300,000	198,100,000	161,400,000	7.2	△ 36,700,000	112,900,000	48,500,000	43.0	
漁業集落排水事業企業債	-	700,000	700,000	-	-	△ 700,000	61,000,000	△ 61,000,000	皆減	
出資金	191,537,000	-	191,537,000	107,178,000	4.8	△ 84,359,000	50,829,000	56,349,000	110.9	
公共下水道事業出資金	-	-	-	-	-	-	11,998,000	△ 11,998,000	皆減	
特定環境保全公共下水道事業出資金	71,303,000	-	71,303,000	41,335,000	1.8	△ 29,968,000	11,298,000	30,037,000	265.9	
農業集落排水事業出資金	120,234,000	-	120,234,000	65,843,000	3.0	△ 54,391,000	26,778,000	39,065,000	145.9	
漁業集落排水事業出資金	-	-	-	-	-	-	755,000	△ 755,000	皆減	
補助金	1,081,856,000	179,977,484	1,261,833,484	996,904,544	44.8	△ 264,928,940	909,089,290	87,815,254	9.7	
公共下水道事業補助金	634,604,000	145,735,044	780,339,044	591,987,725	26.6	△ 188,351,319	473,435,130	118,552,595	25.0	
特定環境保全公共下水道事業補助金	175,850,000	34,242,440	210,092,440	141,704,819	6.4	△ 68,387,621	148,634,160	△ 6,929,341	△ 4.7	
農業集落排水事業補助金	271,402,000	-	271,402,000	263,212,000	11.8	△ 8,190,000	238,748,000	24,464,000	10.2	
漁業集落排水事業補助金	-	-	-	-	-	-	48,272,000	△ 48,272,000	皆減	
負担金及び分担金	184,615,000	20,370,200	204,985,200	174,036,392	7.8	△ 30,948,808	134,668,385	39,368,007	29.2	
公共下水道事業負担金	105,706,000	-	105,706,000	85,186,842	3.8	△ 20,519,158	101,944,785	△ 16,757,943	△ 16.4	
特定環境保全公共下水道事業負担金	24,784,000	-	24,784,000	23,638,650	1.1	△ 1,145,350	15,976,500	7,662,150	48.0	
農業集落排水事業負担金	42,986,000	20,370,200	63,356,200	56,121,700	2.5	△ 7,234,500	7,142,700	48,979,000	685.7	
漁業集落排水事業負担金	11,139,000	-	11,139,000	9,089,200	0.4	△ 2,049,800	9,604,400	△ 515,200	△ 5.4	
固定資産売却代金	4,000	-	4,000	-	-	△ 4,000	-	-	-	
合 計	3,005,112,000	452,347,684	3,457,459,684	2,227,418,936	100.0	△ 1,230,040,748	2,358,586,675	△ 131,167,739	△ 5.6	

(税込み)



## (資本の支出)

(単位：円)

区 分	令和2年度								令和元年度	対前年度	
	予 算 額			決 算 額		翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行率 (%) (B)/(A)	決 算 額 (D)	増減額 (E) (B)-(D)	比率 (%) (E)/(D)
	当年度	繰越額	計 (A)	(B)	構成比 (%)						
建設改良費	2,640,429,000	611,926,068	3,252,355,068	2,125,371,874	50.0	695,354,712	431,628,482	65.3	2,018,708,544	106,663,330	5.3
公共下水道事業 拡張費	1,094,302,000	365,318,479	1,459,620,479	934,475,800	22.0	363,475,280	161,669,399	64.0	849,077,510	85,398,290	10.1
特定環境保全公 共下水道事業拡 張費	471,200,000	104,722,389	575,922,389	345,756,189	8.2	86,913,500	143,252,700	60.0	461,858,920	△ 116,102,731	△ 25.1
農業集落排水事 業拡張費	337,248,000	0	337,248,000	302,258,600	7.1	-	34,989,400	89.6	246,323,900	55,934,700	22.7
漁業集落排水事 業拡張費	-	-	-	-	-	-	-	-	114,515,100	△ 114,515,100	皆減
公共下水道事業 改良費	223,155,000	78,690,000	301,845,000	188,287,350	4.4	85,892,300	27,665,350	62.4	122,544,000	65,743,350	53.6
特定環境保全公 共下水道事業改 良費	68,810,000	-	68,810,000	9,071,050	0.2	56,910,000	2,828,950	13.2	13,263,820	△ 4,192,770	△ 31.6
農業集落排水事 業改良費	98,190,000	31,295,200	129,485,200	98,930,700	2.3	3,696,000	26,858,500	76.4	27,466,400	71,464,300	260.2
公共下水道事業 受益者負担金徴 収費	11,848,000	-	11,848,000	10,410,577	0.3	-	1,437,423	87.9	9,004,793	1,405,784	15.6
特定環境保全公 共下水道事業受 益者負担金徴収 費	10,723,825	-	10,723,825	8,823,894	0.2	-	1,899,931	82.3	6,586,705	2,237,189	34.0
農業集落排水事 業受益者負担金 徴収費	6,639,175	-	6,639,175	5,782,755	0.1	-	856,420	87.1	112,408	5,670,347	5,044.4
漁業集落排水事 業受益者負担金 徴収費	421,000	-	421,000	411,354	0.0	-	9,646	97.7	5,689,556	△ 5,278,202	△ 92.8
公共下水道事業 有形固定資産購 入費	4,708,500	-	4,708,500	3,935,856	0.1	-	772,644	83.6	4,657,042	△ 721,186	△ 15.5
特定環境保全公 共下水道事業有 形固定資産購入 費	1,411,500	-	1,411,500	1,273,612	0.0	-	137,888	90.2	369,487	904,125	244.7
農業集落排水事 業有形固定資産 購入費	951,000	-	951,000	689,888	0.0	-	261,112	72.5	251,996	437,892	173.8
漁業集落排水事 業有形固定資産 購入費	45,000	-	45,000	3,444	0.0	-	41,556	7.7	273,310	△ 269,866	△ 98.7
公共下水道事業 無形固定資産購 入費	161,256,000	15,278,230	176,534,230	78,066,598	1.8	98,467,632	-	44.2	33,994,839	44,071,759	129.6
特定環境保全公 共下水道事業無 形固定資産購入 費	-	4,988,390	4,988,390	4,988,390	0.1	-	-	100.0	352,472	4,635,918	1,315.3
農業集落排水事 業無形固定資産 購入費	-	10,893,740	10,893,740	10,893,740	0.3	-	-	100.0	511,835	10,381,905	2,028.4
漁業集落排水事 業無形固定資産 購入費	-	739,640	739,640	739,640	0.0	-	-	100.0	25,310	714,330	2,822.3
公共下水道事業 建設改良管理費	74,036,139	-	74,036,139	61,523,092	1.5	-	12,513,047	83.1	62,440,314	△ 917,222	△ 1.5
特定環境保全公 共下水道事業建 設改良管理費	35,291,000	-	35,291,000	24,932,853	0.6	-	10,358,147	70.6	25,406,909	△ 474,056	△ 1.9
農業集落排水事 業建設改良管理 費	40,192,861	-	40,192,861	34,116,492	0.8	-	6,076,369	84.9	6,947,489	27,169,003	391.1
漁業集落排水事 業建設改良管理 費	-	-	-	-	-	-	-	-	27,034,429	△ 27,034,429	皆減
企業債償還金	2,116,960,000	-	2,116,960,000	2,116,957,812	50.0	-	2,188	100.0	2,108,405,476	8,552,336	0.4
公共下水道事業 企業債償還金	1,255,296,000	-	1,255,296,000	1,255,295,421	29.6	-	579	100.0	1,281,780,940	△ 26,485,519	△ 2.1
特定環境保全公 共下水道事業企 業債償還金	287,674,000	-	287,674,000	287,673,171	6.8	-	829	100.0	271,494,738	16,178,433	6.0
農業集落排水事 業企業債償還金	566,821,000	-	566,821,000	566,820,929	13.4	-	71	100.0	554,362,275	12,458,654	2.2
漁業集落排水事 業企業債償還金	7,169,000	-	7,169,000	7,168,291	0.2	-	709	100.0	767,523	6,400,768	834.0
投資	2,017,000	-	2,017,000	456,176	0.0	-	1,560,824	22.6	454,523	1,653	0.4
基金費	2,017,000	-	2,017,000	456,176	0.0	-	1,560,824	22.6	454,523	1,653	0.4
合 計	4,759,406,000	611,926,068	5,371,332,068	4,242,785,862	100.0	695,354,712	433,191,494	79.0	4,127,568,543	115,217,319	2.8

(税込み)

収入合計は 2,227,418,936 円で、予算額 3,457,459,684 円に対して 1,230,040,748 円少なく、収入率は 64.4%である。

支出合計は 4,242,785,862 円、翌年度繰越額は 695,354,712 円で、予算額 5,371,332,068 円に対し 433,191,494 円の不用額を生じ、執行率は 79.0%である。

不用額の主なものは、公共下水道事業拡張費 161,669,399 円、特定環境保全公共下水道事業拡張費 143,252,700 円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 2,015,366,926 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 91,239,967 円、減債積立金 682,599,731 円、過年度分損益勘定留保資金 67,123,890 円及び当年度分損益勘定留保資金 1,174,403,338 円で補てんされている。

### (3) その他の予算事項

地方公営企業法施行令第 17 条に規定する予算に係る事項の執行状況は、次のとおりである。

#### ① 債務負担行為

債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、予算に定めるとおり執行されている。

#### ② 企業債

起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、予算に定めるとおり執行されている。

#### ③ 一時借入金

当年度の一時借入金限度額は、500,000,000 円であったが、執行はなかった。

#### ④ 予定支出の各項の経費の金額の流用

営業費用と営業外費用との間及び建設改良費と投資との間において、流用はなかった。

#### ⑤ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費

職員給与費 258,516,000 円であり、流用はなく、予算の範囲内で執行されている。

#### ⑥ 他会計からの補助金

一般会計からの補助金は 1,658,440,000 円（収益的収入 1,383,817,000 円、資本的収入 274,623,000 円）である。

#### ⑦ たな卸資産購入限度額

当年度のたな卸資産購入限度額は、1,277,100 円であり、予算に定められた購入限度額 1,500,000 円の範囲内で執行されている。

### 3 経営成績について

当年度の経営成績を前年度と対比すると、次の損益計算書のとおりである。

営業収益は 2,318,722,983 円で、前年度に比べ 114,404,035 円増加し、営業費用は 3,753,764,678 円で、前年度に比べ 94,438,844 円増加している。この結果、営業損失は 1,435,041,695 円で、前年度に比べ 19,965,191 円減少している。営業外収益は 2,582,065,933 円で、前年度に比べ 7,936,820 円減少し、営業外費用は 550,459,432 円で、前年度に比べ 48,410,273 円減少している。これにより、経常利益は 596,564,806 円、当年度純利益は 596,641,806 円である。

(損益計算書)

(単位：円)

科 目	令和2年度			令和元年度			比較増減
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
営業収益		2,318,722,983	100.0		2,204,318,948	100.0	114,404,035
事業収益	2,255,547,643		97.3	2,141,467,408		97.2	114,080,235
他会計補助金	62,658,000		2.7	62,279,000		2.8	379,000
その他営業収益	517,340		0.0	572,540		0.0	△ 55,200
営業費用		3,753,764,678	100.0		3,659,325,834	100.0	94,438,844
管渠費	138,526,158		3.7	125,322,176		3.4	13,203,982
ポンプ場費	24,778,183		0.7	25,895,721		0.7	△ 1,117,538
処理場費	1,024,958,954		27.3	991,040,913		27.1	33,918,041
総係費	139,199,512		3.7	140,994,394		3.9	△ 1,794,882
減価償却費	2,377,058,395		63.3	2,372,597,841		64.8	4,460,554
資産減耗費	49,243,476		1.3	3,474,789		0.1	45,768,687
営業損失		1,435,041,695			1,455,006,886		△ 19,965,191
営業外収益		2,582,065,933	100.0		2,590,002,753	100.0	△ 7,936,820
受取利息及び配当金	467,572		0.0	465,221		0.0	2,351
他会計補助金	1,321,159,000		51.2	1,348,884,000		52.1	△ 27,725,000
長期前受金戻入	1,251,899,703		48.5	1,232,212,486		47.6	19,687,217
雑収益	8,539,658		0.3	8,441,046		0.3	98,612
営業外費用		550,459,432	100.0		598,869,705	100.0	△ 48,410,273
支払利息及び企業債取扱諸費	546,945,991		99.4	595,497,909		99.4	△ 48,551,918
雑支出	3,513,441		0.6	3,371,796		0.6	141,645
経常利益		596,564,806			536,126,162		60,438,644
特別利益		454,751	100.0		51,806,913	100.0	△ 51,352,162
過年度損益修正益	454,751		100.0	914,413		1.8	△ 459,662
その他特別利益	-		-	50,892,500		98.2	△ 50,892,500
特別損失		377,751	100.0		640,738	100.0	△ 262,987
過年度損益修正損	377,751		100.0	640,738		100.0	△ 262,987
当年度純利益		596,641,806			587,292,337		9,349,469
前年度繰越利益剰余金		-			-		
当年度未処分利益剰余金		596,641,806			587,292,337		9,349,469

(税抜き)



## (営業費用構成年度比較)

(単位：円)

区 分	令和2年度		令和元年度		比較増減
		構成比(%)		構成比(%)	
管 渠 費	138,526,158	3.7	125,322,176	3.4	13,203,982
ポ ンプ 場 費	24,778,183	0.7	25,895,721	0.7	△ 1,117,538
処 理 場 費	1,024,958,954	27.3	991,040,913	27.1	33,918,041
総 係 費	139,199,512	3.7	140,994,394	3.9	△ 1,794,882
減 価 償 却 費	2,377,058,395	63.3	2,372,597,841	64.8	4,460,554
資 産 減 耗 費	49,243,476	1.3	3,474,789	0.1	45,768,687
合 計	3,753,764,678	100.0	3,659,325,834	100.0	94,438,844

(税抜き)

次に、営業費用を性質別にみると、次表のとおりである。

## (営業費用性質別年度比較)

(単位：円)

区 分	令和2年度		令和元年度		比較増減
		構成比(%)		構成比(%)	
給 与 費 等	95,185,892	2.6	96,225,387	2.6	△ 1,039,495
委 託 料	370,363,652	9.9	367,921,360	10.0	2,442,292
修 繕 費 等	112,176,420	3.0	111,849,470	3.1	326,950
動 力 費 等	178,288,161	4.7	177,723,880	4.9	564,281
負 担 金	530,603,219	14.1	488,863,719	13.4	41,739,500
減 価 償 却 費 等	2,426,301,871	64.6	2,376,072,630	64.9	50,229,241
そ の 他	40,845,463	1.1	40,669,388	1.1	176,075
合 計	3,753,764,678	100.0	3,659,325,834	100.0	94,438,844

(税抜き)

- (注) 1. 給与費等には、給料のほか手当、賞与引当金繰入額、報酬、法定福利費及び退職給付費を含む。  
 2. 動力費等には、動力費のほか光熱水費及び通信運搬費、薬品費を含む。  
 3. 減価償却費等には、減価償却費のほか資産減耗費を含む。

## (2) 営業外収益及び営業外費用

営業外収益は 2,582,065,933 円で、前年度に比べ 7,936,820 円 (△0.3%) 減少している。主な理由は、他会計補助金の減少である。

営業外費用は 550,459,432 円で、前年度に比べ 48,410,273 円 (△8.1%) 減少している。主な理由は、支払利息及び企業債取扱諸費の減少である。

## (3) 特別利益及び特別損失

特別利益は 454,751 円で、前年度に比べ 51,352,162 円 (△99.1%) 減少している。主な理由は、その他特別利益の減少である。

特別損失は 377,751 円で、前年度に比べ 262,987 円 (△41.0%) 減少している。この理由は、過年度損益修正損の減少である。

(4) 原価計算

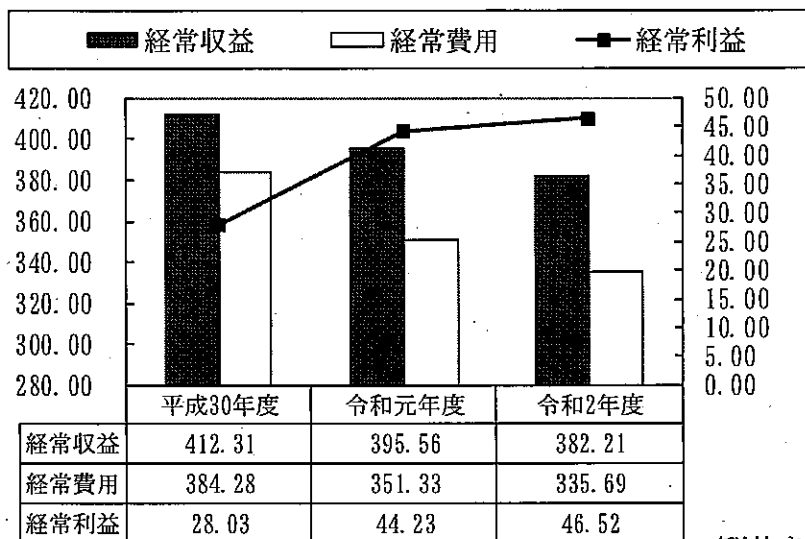
有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりの収益及び費用は、次表のとおりである。

単位当たりの経常収益は、前年度に比べ 13.35 円減少し、経常費用は 15.64 円減少している。この結果、経常利益は 2.29 円増加している。

使用料単価は、前年度に比べ 0.78 円減少し、汚水処理原価は 3.68 円減少している。この結果、使用料単価から汚水処理原価の差引は 2.9 円増加している。

(単位当たり経常利益年度比較)

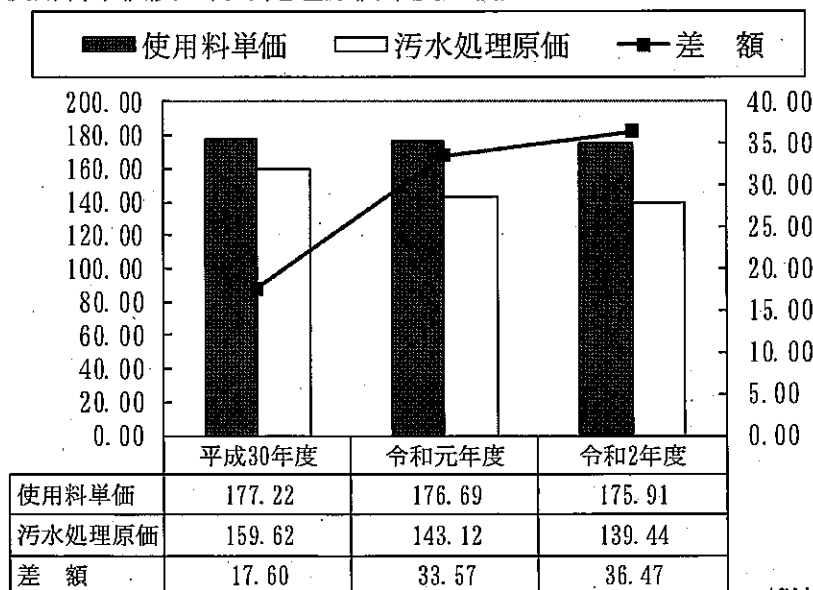
(単位：円/m<sup>3</sup>)



(税抜き)

(単位当たり使用料単価及び汚水処理原価年度比較)

(単位：円/m<sup>3</sup>)



(税抜き)

(注)汚水処理原価(使用料対象原価) = 経常費用 - (不用品売却原価 + 基準内繰入金(収益的収入分)) - 長期前受金戻入(元金償還に係る一般会計補助金収益化額を除く) / 年間総有収水量

(5) 剰余金計算

剰余金の当年度中の増減状況は、次頁のとおりである。

当年度未処分利益剰余金 596,641,806 円は、全額、減債積立金に積み立てる予定としている。

## (剰余金計算書)

(単位：円)

	資本金	剰余金						資本合計	
		資本剰余金			利益剰余金				
		受贈財産評価額	補助金	受益者負担金及び分担金	資本剰余金合計	減償積立金	未処分利益剰余金		利益剰余金合計
前年度末残高	7,237,413,381	31,161,490	568,812,476	922,499	600,896,465	850,548,662	587,292,337	1,437,840,999	9,276,150,845
前年度剰余金の処分額	—	—	—	—	—	587,292,337	△ 587,292,337	—	—
<small>           神戸市上下水道事業の設置等に関する条例第6条第1項による処分額         </small>	—	—	—	—	—	587,292,337	△ 587,292,337	—	—
減償積立金の積立	—	—	—	—	—	587,292,337	△ 587,292,337	—	—
処分後残高	7,237,413,381	31,161,490	568,812,476	922,499	600,896,465	1,437,840,999	(繰越利益剰余金) —	1,437,840,999	9,276,150,845
当年度変動額	789,777,731	—	—	—	—	△ 682,599,731	596,641,806	△ 85,957,925	703,819,806
出資金の受入	107,178,000	—	—	—	—	—	—	—	107,178,000
資本金への組入	682,599,731	—	—	—	—	△ 682,599,731	—	△ 682,599,731	—
当年度純利益	—	—	—	—	—	—	596,641,806	596,641,806	596,641,806
当年度末残高	8,027,191,112	31,161,490	568,812,476	922,499	600,896,465	755,241,268	(当年度末繰越利益剰余金) 596,641,806	1,351,883,074	9,979,970,651

(税抜き)

## (6) 各下水道事業別の経営成績

各下水道事業の経営成績は、次表のとおりである。

事業別に当年度の純利益（純損失）を見ると、公共下水道事業は純利益 652,627,377 円、特定環境保全公共下水道事業は純損失 48,668,644 円、農業集落排水事業は純損失 2,493,427 円、漁業集落排水事業は純損失 4,823,500 円である。

## (事業別経営成績)

(単位：円)

科 目	公共下水道事業	特定環境保全 公共下水道事業	農 業 集 落 排 水 事 業	漁 業 集 落 排 水 事 業	合 計
営業収益	1,916,470,224	167,008,360	212,419,831	22,824,568	2,318,722,983
事業収益	1,867,606,124	161,280,440	204,567,631	22,093,448	2,255,547,643
他会計補助金	48,377,000	5,726,000	7,827,000	728,000	62,658,000
その他営業収益	487,100	1,920	25,200	3,120	517,340
営業費用	2,309,233,538	614,113,966	776,521,699	53,895,475	3,753,764,678
管渠費	45,299,254	28,522,952	63,916,475	787,477	138,526,158
ポンプ場費	24,778,183	—	—	—	24,778,183
処理場費	779,092,150	107,734,502	127,535,248	10,597,054	1,024,958,954
総係費	99,683,087	15,298,556	22,422,998	1,794,871	139,199,512
減価償却費	1,354,883,726	462,531,813	518,926,783	40,716,073	2,377,058,395
資産減耗費	5,497,138	26,143	43,720,195	—	49,243,476
営業利益（損失）	△ 392,763,314	△ 447,105,606	△ 564,101,868	△ 31,070,907	△ 1,435,041,695
営業外収益	1,349,682,480	499,269,319	700,733,038	32,381,096	2,582,065,933
受取利息及び配当金	467,572	—	—	—	467,572
他会計補助金	663,514,000	248,096,000	398,912,000	10,637,000	1,321,159,000
長期前受金戻入	677,299,770	251,074,843	301,787,725	21,737,365	1,251,899,703
雑収益	8,401,138	98,476	33,313	6,731	8,539,658
営業外費用	304,398,006	100,808,813	139,118,924	6,133,689	550,459,432
支払利息及び企業債取扱諸費	301,882,803	100,316,820	138,735,826	6,010,542	546,945,991
雑支出	2,515,203	491,993	383,098	123,147	3,513,441
経常利益（損失）	652,521,160	△ 48,645,100	△ 2,487,754	△ 4,823,500	596,564,806
特別利益	454,432	319	—	—	454,751
過年度損益修正益	454,432	319	—	—	454,751
その他特別利益	—	—	—	—	—
特別損失	348,215	23,863	5,673	—	377,751
過年度損益修正損	348,215	23,863	5,673	—	377,751
当年度純利益（純損失）	652,627,377	△ 48,668,644	△ 2,493,427	△ 4,823,500	596,641,806
前年度繰越利益剰余金	—	—	—	—	—
当年度未処分利益剰余金（未処理欠損金）	652,627,377	△ 48,668,644	△ 2,493,427	△ 4,823,500	596,641,806

(税抜き)



#### 4 財政状態について

当年度末の財政状態を前年度と対比すると、次頁の貸借対照表のとおりである。資産の部では、固定資産が73,420,804,181円で、前年度に比べ446,946,880円(△0.6%)減少している。資産合計は75,439,108,873円で、前年度に比べ495,870,900円(△0.7%)減少している。

負債及び資本の部では、負債合計が65,459,138,222円で、前年度に比べ1,199,690,706円(△1.8%)減少し、資本合計は9,979,970,651円で、前年度に比べ703,819,806円(7.6%)増加している。

各区分の財政状態の詳細は次のとおりである。

##### (1) 資産の部

有形固定資産は70,367,138,061円で、前年度に比べ448,438,310円減少している。主な理由は、建物並びに機械及び装置の減価償却による減である。

無形固定資産は2,549,109,155円で、前年度に比べ1,035,254円増加している。主な理由は、ソフトウェアの増加である。

また、流動資産は2,018,304,692円で、前年度に比べ48,924,020円減少している。主な理由は、前払金の皆減である。

##### (2) 負債の部

固定負債は28,746,889,842円で、前年度に比べ1,201,144,526円減少している。

主な理由は、建設改良費等の財源に充てるための企業債の減少である。

また、流動負債は2,714,492,064円で、前年度に比べ137,644,509円増加している。主な理由は、未払金の増加である。

##### (3) 資本の部

資本金は8,027,191,112円で、前年度に比べ789,777,731円増加している。

剰余金は1,952,779,539円で、前年度に比べ85,957,925円減少している。

企業債の未償還残高は、前年度に比べ1,167,657,812円減少している。

前年度末残高	31,962,618,100円
当年度発行額	949,300,000円
当年度償還額	2,116,957,812円
当年度末残高	30,794,960,288円

(貸借対照表)

(単位：円)

科 目	令和2年度			令和元年度			比較増減
	金額	構成比 (%)		金額	構成比 (%)		
<b>(資産の部)</b>							
固定資産							
有形固定資産							
土地		1,253,170,396	1.7		1,253,170,396	1.6	—
建物	2,894,556,425			2,894,174,115			
減価償却累計額	△ 758,488,450	2,136,067,975	2.8	△ 689,129,384	2,205,044,731	2.9	△ 68,976,756
構築物	78,036,289,498			76,355,221,203			
減価償却累計額	△ 15,764,696,835	62,271,592,663	82.5	△ 14,070,642,030	62,284,579,173	82.0	△ 12,986,510
機械及び装置	10,446,138,259			10,130,384,002			
減価償却累計額	△ 6,297,183,624	4,148,954,635	5.5	△ 5,818,329,965	4,312,054,037	5.7	△ 163,099,402
車両運搬具	6,646,027			5,854,789			
減価償却累計額	△ 3,430,352	3,215,675	0.0	△ 2,934,814	2,919,975	0.0	295,700
工具器具及び備品	26,210,947			22,119,947			
減価償却累計額	△ 16,257,968	9,952,979	0.0	△ 15,525,607	6,594,340	0.0	3,358,639
建設仮勘定		544,183,738	0.7		751,213,719	1.0	△ 207,029,981
有形固定資産合計		70,367,138,061	93.2		70,815,576,371	93.2	△ 448,438,310
無形固定資産							
施設利用権		2,512,170,208	3.3		2,537,705,513	3.3	△ 25,535,305
ソフトウェア		36,938,947	0.1		10,368,388	0.0	26,570,559
無形固定資産合計		2,549,109,155	3.4		2,548,073,901	3.3	1,035,254
投資その他資産							
基金		504,556,965	0.7		504,100,789	0.7	456,176
投資その他の資産合計		504,556,965	0.7		504,100,789	0.7	456,176
<b>固定資産合計</b>		<b>73,420,804,181</b>	<b>97.3</b>		<b>73,867,751,061</b>	<b>97.2</b>	<b>△ 446,946,880</b>
流動資産							
現金・預金		1,329,715,747	1.8		1,263,801,277	1.7	65,914,470
未収金		697,377,245	0.9		678,870,635	0.9	18,506,610
貸倒引当金		△ 9,900,000	△ 0.0		△ 7,500,000	△ 0.0	△ 2,400,000
貯蔵品		1,111,700	0.0		409,800	0.0	701,900
前払金		—	—		131,647,000	0.2	△ 131,647,000
<b>流動資産合計</b>		<b>2,018,304,692</b>	<b>2.7</b>		<b>2,067,228,712</b>	<b>2.8</b>	<b>△ 48,924,020</b>
<b>資産合計</b>		<b>75,439,108,873</b>	<b>100.0</b>		<b>75,934,979,773</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 495,870,900</b>

(税抜き)

## (貸借対照表)

(単位：円)

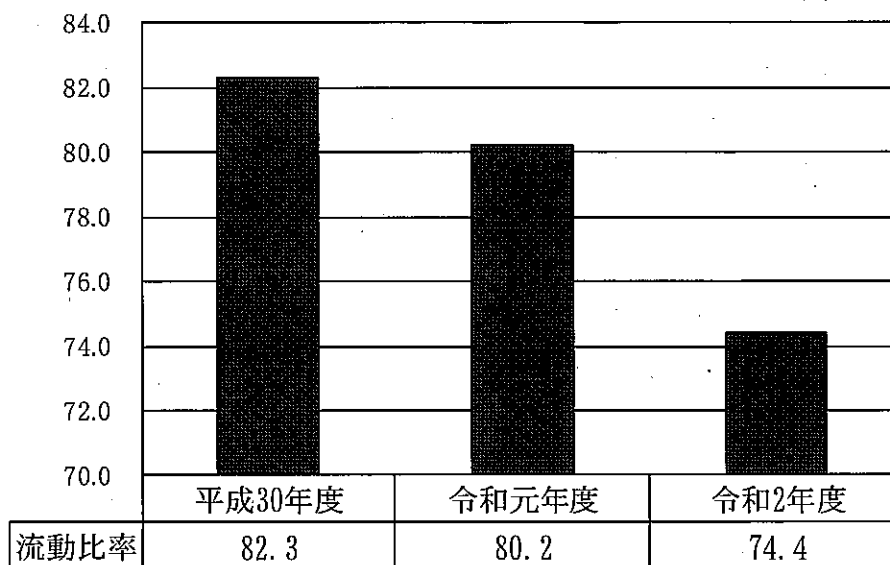
科 目	令和2年度		令和元年度		比較増減
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
<b>(負債の部)</b>					
固定負債					
企業債 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	28,629,814,704	38.0	29,845,660,288	39.3	△ 1,215,845,584
引当金					
退職給付引当金	117,075,138	0.1	102,374,080	0.1	14,701,058
<b>固定負債合計</b>	<b>28,746,889,842</b>	<b>38.1</b>	<b>29,948,034,368</b>	<b>39.4</b>	<b>△ 1,201,144,526</b>
流動負債					
企業債 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	2,165,145,584	2.9	2,116,957,812	2.8	48,187,772
未払金	474,477,741	0.6	420,264,191	0.6	54,213,550
前受金	3,624	0.0	3,624	0.0	—
引当金					
賞与引当金	19,175,000	0.0	19,576,000	0.0	△ 401,000
その他流動負債	55,690,115	0.1	20,045,928	0.0	35,644,187
<b>流動負債合計</b>	<b>2,714,492,064</b>	<b>3.6</b>	<b>2,576,847,555</b>	<b>3.4</b>	<b>137,644,509</b>
繰延収益					
長期前受金	46,231,829,032	61.3	45,166,691,659	59.5	1,065,137,373
収益化累計額	△ 12,234,072,716	△ 16.2	△ 11,032,744,654	△ 14.5	△ 1,201,328,062
<b>繰延収益合計</b>	<b>33,997,756,316</b>	<b>45.1</b>	<b>34,133,947,005</b>	<b>45.0</b>	<b>△ 136,190,689</b>
<b>負債合計</b>	<b>65,459,138,222</b>	<b>86.8</b>	<b>66,658,828,928</b>	<b>87.8</b>	<b>△ 1,199,690,706</b>
<b>(資本の部)</b>					
資本金	8,027,191,112	10.6	7,237,413,381	9.5	789,777,731
剰余金					
資本剰余金					
受贈財産評価額	31,161,490	0.0	31,161,490	0.0	—
補助金	568,812,476	0.8	568,812,476	0.8	—
受益者負担金及び分 担金	922,499	0.0	922,499	0.0	—
<b>資本剰余金合計</b>	<b>600,896,465</b>	<b>0.8</b>	<b>600,896,465</b>	<b>0.8</b>	<b>—</b>
利益剰余金					
減債積立金	755,241,268	1.0	850,548,662	1.1	△ 95,307,394
当年度未処分利益剰 余金	596,641,806	0.8	587,292,337	0.8	9,349,469
<b>利益剰余金合計</b>	<b>1,351,883,074</b>	<b>1.8</b>	<b>1,437,840,999</b>	<b>1.9</b>	<b>△ 85,957,925</b>
<b>剰余金合計</b>	<b>1,952,779,539</b>	<b>2.6</b>	<b>2,038,737,464</b>	<b>2.7</b>	<b>△ 85,957,925</b>
<b>資本合計</b>	<b>9,979,970,651</b>	<b>13.2</b>	<b>9,276,150,845</b>	<b>12.2</b>	<b>703,819,806</b>
<b>負債資本合計</b>	<b>75,439,108,873</b>	<b>100.0</b>	<b>75,934,979,773</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 495,870,900</b>

(税抜き)

ここで、主な財務比率の推移は次のとおりである。

(流動比率)

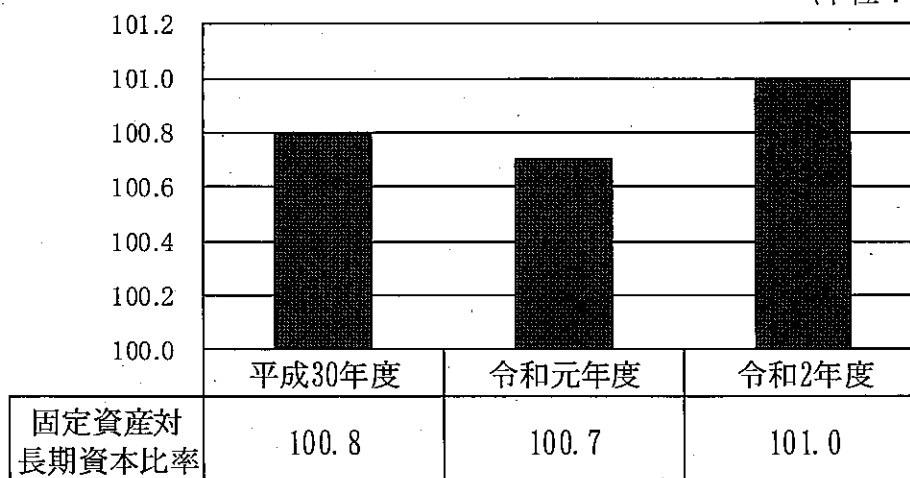
(単位：%)



※ 流動比率＝流動資産/流動負債×100  
 流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表している。流動比率は100%以上であることが望ましい。

(固定資産対長期資本比率)

(単位：%)



※ 固定資産対長期資本比率＝固定資産/(資本金+剰余金+固定負債+繰延収益)×100  
 固定資産対長期資本比率は、固定資産がどの程度長期資本(自己資本(資本金+剰余金+繰延収益)及び長期借入金(固定負債))によって調達されているかを示すものである。この比率は100%以下で、かつ低いことが望ましい。

5 資金収支の状況について

業務活動によるキャッシュ・フローは、通常の業務活動の実施に係る資金の状態を表し、投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動に係る資金の状態を表し、財務活動によるキャッシュ・フローは、業務活動及び投資活動を行うための財務活動に係る資金の状態を表している。

キャッシュ・フロー計算書の推移は次表のとおりである。

(キャッシュ・フロー計算書)

(単位：円)

区 分	令和2年度	令和元年度	増減
<b>1 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
当年度純利益	596,641,806	587,292,337	9,349,469
減価償却費	2,377,058,395	2,372,597,841	4,460,554
固定資産除却費	49,243,476	3,474,789	45,768,687
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,400,000	△ 3,300,000	5,700,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14,701,058	12,083,187	2,617,871
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 507,000	837,000	△ 1,344,000
長期前受金戻入額	△ 1,251,899,703	△ 1,232,212,486	△ 19,687,217
受取利息及び受取配当金	△ 467,572	△ 465,221	△ 2,351
支払利息	546,945,991	595,497,909	△ 48,551,918
未収金の増減額(△は増加)	26,527,478	15,667,757	10,859,721
未払金の増減額(△は減少)	120,243,231	△ 53,292,116	173,535,347
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 1,159,830	△ 185,650	△ 974,180
前払金の増減額(△は増加)	131,647,000	△ 131,647,000	263,294,000
預り金の増減額(△は減少)	35,644,187	280,677	35,363,510
小 計	2,647,018,517	2,166,629,024	480,389,493
利息及び配当金の受取額	467,572	465,221	2,351
利息の支払額	△ 546,945,991	△ 595,497,909	48,551,918
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,100,540,098	1,571,596,336	528,943,762
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 1,928,064,161	△ 2,229,465,959	301,401,798
無形固定資産の取得による支出	△ 86,080,335	△ 218,639,042	132,558,707
基金積立てによる収入	△ 456,176	△ 454,523	△ 1,653
国庫補助金等による収入	831,646,856	742,655,807	88,991,049
一般会計からの補助金による収入	265,157,000	261,535,000	3,622,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 917,796,816	△ 1,444,368,717	526,571,901
<b>3 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	949,300,000	1,264,000,000	△ 314,700,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 2,116,957,812	△ 2,108,405,476	△ 8,552,336
他会計からの出資による収入	50,829,000	204,251,000	△ 153,422,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,116,828,812	△ 640,154,476	△ 476,674,336
資金増加額(又は減少額)	65,914,470	△ 512,926,857	578,841,327
資金期首残高	1,263,801,277	1,776,728,134	△ 512,926,857
資金期末残高	1,329,715,747	1,263,801,277	65,914,470

(税抜き)

業務活動によるキャッシュ・フローは、2,100,540,098円で、前年度に比べ528,943,762円増加している。主な理由は前払金の減少によるものである。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△917,796,816円で、前年度に比べ526,571,901円増加している。主な理由は、有形固定資産の取得による支出の減少によるものである。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△1,116,828,812円で、前年度に比べ476,674,336円減少している。主な理由は、建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入の減少によるものである。

以上の3区分から当年度の資金は、65,914,470円の増加となり、資金期末残高は1,329,715,747円となる。

キャッシュ・フローを見ると、業務活動で十分なキャッシュを生み出し、投資と借入金の返済もできており一般的にいう優良企業型である。

## 6 セグメント情報

### (1) 報告セグメントの概要

諫早市下水道事業会計は、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び漁業集落排水事業を運営しており、各事業で地理的条件や地域性の違いから収益状況等が異なることから、それらを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は、次表のとおりである。

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	市街地における、し尿、生活排水等の処理
特定環境保全公共下水道事業	市街地以外における、し尿、生活排水等の処理
農業集落排水事業	農業集落における、し尿、生活排水等の処理
漁業集落排水事業	漁業集落における、し尿、生活排水等の処理

### (2) 報告セグメントごとの経常損益

当年度の報告セグメントのうち、経常損益は、次表のとおりである。

(単位：円)

	公共下水道事業	特定環境保全公共下水道事業	農業集落排水事業	漁業集落排水事業	合計
令和2年度	652,521,160	△48,645,100	△2,487,754	△4,823,500	596,564,806
令和元年度	601,306,852	△54,966,439	△9,698,566	△515,685	536,126,162
比較増減	51,214,308	6,321,339	7,210,812	△4,307,815	60,438,644

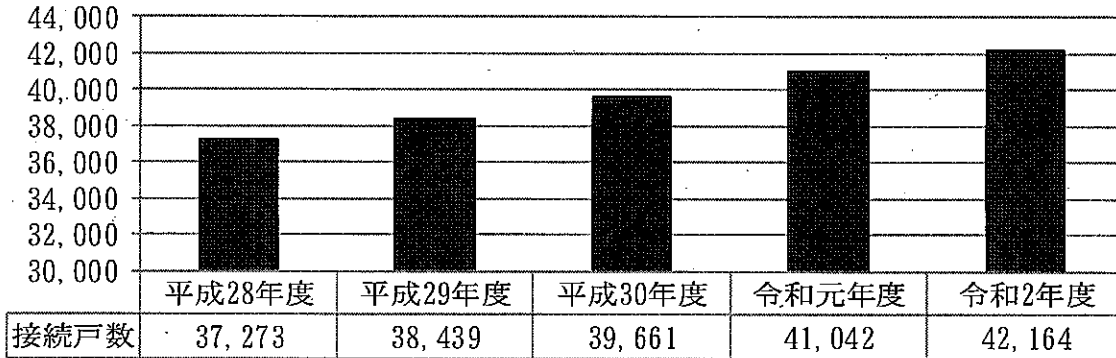
(税抜き)

## 7 むすび

諫早市下水道事業における、接続戸数、接続率及び年間有収水量の推移は、次のとおりである。

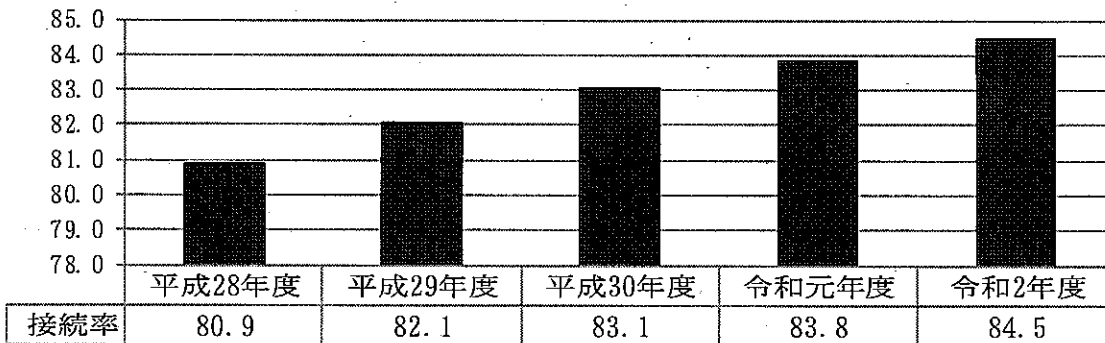
(接続戸数)

(単位：戸)



(接続率)

(単位：%)

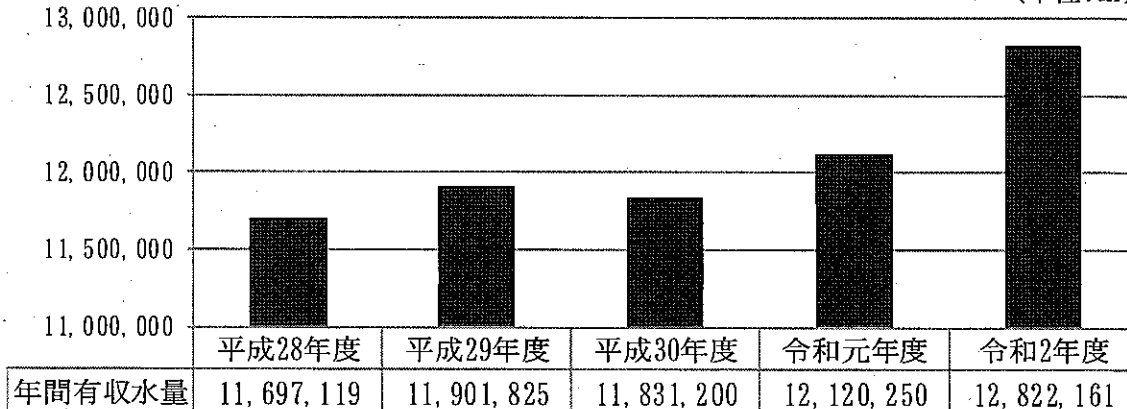


当年度の接続戸数は、前年度に比べ1,122戸増加し、接続率は0.7ポイント上昇している。

人口減少や節水機器の普及などにより、1戸当たりの使用水量が大幅に増えることは難しいので、引き続き供用開始区域内の更なる接続を推進し、下水道使用料の増収を図っていく必要がある。

(年間有収水量)

(単位：m<sup>3</sup>)



接続戸数と接続率の増加に伴い、当年度の年間有収水量は前年度に比べ701,911 m<sup>3</sup>増加している。

下水道事業の業務実績の年度別推移では、供用開始区域内における下水道への接続戸数及び接続率は年々上昇傾向にあり、これに伴い有収水量も増加しているが、人口減少などにより使用料収入の大幅な増加は見込めず、また、施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大や多額の企業債償還（令和2年度末企業債残高 30,794,960,288 円）が続くなど、下水道事業経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況である。

なお、「諫早市下水道経営戦略プラン」における令和2年度時点の財政計画や各指標の計画値は、おおむね達成していると判断できる。これまでも普及率や接続率の向上に努めてきているが、引き続き未接続者や大規模事業者に対する個別訪問などにより、更なる接続促進を図りたい。また、地方公営企業の独立採算制の原則に鑑み、使用料収入を確保することにより、今後も一般会計からの基準外繰入金や企業債残高の縮減に努められたい。

また、管路や処理場等の施設の老朽化に伴う更新等については、「諫早市公共下水道ストックマネジメント実施方針」に基づき行われているが、引き続き長期的展望に立った計画的かつ効率的な整備を実施することにより、施設の長寿命化と管理の最適化に努められたい。

各下水道事業（報告セグメント）の経営成績を見てみると、公共下水道事業の経常損益は黒字であるが、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び漁業集落排水事業では赤字となっている。生活環境の改善と三つの海や河川などの公共用水域の水質保全を図るため、各事業の推進は必要であるが、今後、農業集落排水の公共下水道及び特定環境保全公共下水道への接続、隣接する処理場の統廃合による経営の効率化の検討、また、事務の民間委託による経費縮減の取組を検討するなど、適切な経営計画に基づき経営基盤の改善・強化を図り、事業の効率的かつ効果的な推進に努められたい。